

## 第一回 先進的企業 視察レポート②

<目 的> 社員とその家族を大切にする取り組みを行っている企業を視察し、自社の社員定着および育成へ向けた取り組みのヒントとする

<視 察 日> 平成 28 年 8 月 30 日 (火)

<視察人数> 18 名

<視 察 先> 市岡製菓 株式会社 <http://www.ichioka-seika.co.jp>

徳島県小松島市江田町字腰前

(資 本 金) 3000 万円

(設 立) 昭和 48 年 (創業 昭和 24 年)

(従業員数) 150 名 (グループ会社含)

(業 種) 菓子製造・販売

徳島県のお土産といえば“金長まんじゅう”が有名ですが、行ってびっくり！

なんと“金長まんじゅう”は市岡製菓グループ((株)ハレルヤ)で作られたものでした。



こちらの企業は、平成 27 年 3 月「第四回 四国でいちばん大切にしたい会社大賞」奨励賞を受賞され、同年 5 月 テレビ大阪「日経スペシャル 夢織人 ～小さなトップ企業～」では、女性社員の活躍できる職場、やめない(定着している)職場として取り上げられました。



お酒が大好きで、ついつい飲み過ぎてしまうという市岡社長です！

徳島県って  
関西弁だった  
のね！

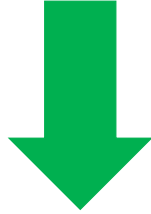
番組のテーマは、“女子力を生かす”。

市岡製菓グループ会社の社員数は 150 名。そのうち約 8 割の 121 名が女性、男性は 39 名。その中でも営業部には男性たった 1 名！と、まさに“女性の職場”といった感じです。

市岡通裕社長は、入社間もない女性社員でもプロジェクトリーダーに抜擢されるそうです。すると「女性は、目の色変えて頑張りますわ～」と関西弁でお話してくださいました。

また番組では、大卒女性第一号の M さんについて取り上げられていました。女性が働く中で、生活の変化は付き物です。M さんも様々な生活環境の変化が起きます。そこで、社長が考えられたのが“**個人の働き方に合わせた職場環境づくり**”でした。

それは、営業だった M さんが結婚されたのをきっかけに、出張や残業の少ない部署 “システム開発部” を新たに作り配置換え、今度は出産をきっかけに子供の急な病気にも対応できる休暇の取りやすい部署 “商品開発部” を作り配置換えをされたことでした。



### ”もったいない精神”

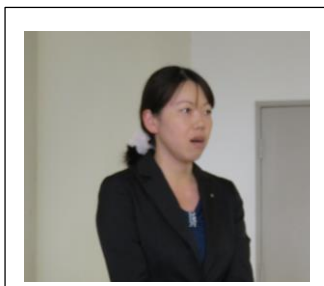
そこには社長の「営業が出来る子、システム開発が出来る子、商品開発が出来る子がいたらいいし、またあれもこれも出来る子が辞めたらもったいない！」という気持ちからでした。

「制度だけ作ったらいいと言うものではない」とも。

それが **本人のキャリアアップ**と、**職場定着** につながっていったそうです。

社長は、“市岡一家” “市岡グループは家族だ” とおっしゃいます。風通しが良く、わいわいガヤガヤしているのがいいですよ！

そいった風通しの良さ、家族愛が、育児休業も取得しやすく、また取得後は「今度は私がサポートする番」 という “お互い様精神” の風土を自然につくりあげていったようです。



その風通しの良さについては、会社説明会の段階で感じられたとディスカッションの際、社員の方がおっしゃってくださいました。

お話では、会社説明会の段階で社長自らが来られ、会社について熱く語られたとか。当時（十数年前）では珍しかったそうです。

もちろん、お菓子作りが好きで、子供のころからの夢を実現された社員の方もいらっしゃいました。

好きなことが仕事になるって、とてもうらやましい事ですよ。



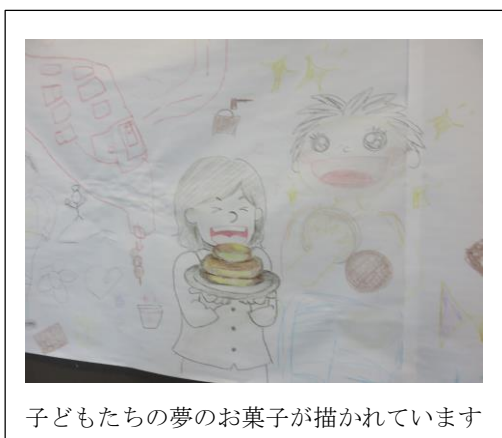
社長独自の経営論についてもお話していただきました。“つぶれない会社” にするには、「あってよかった」「なくては困る」と地域の人に思ってもらえる会社にすることが大切だそうです。

そのため、過疎化の進んだ地域の特産品を積極的に使った商品を開発し販売する。それが地域おこしとなり、地域から愛され、そして知名度も上がるのだそうです。

また、地域の子どもたちを巻き込んだ催しを企画するなどの地域貢献も盛んに行われていました。



近隣の保育園や小学校の子どもたちの  
写真やメッセージがいっぱいです！



視察風景



最後に社長は、  
会社は経営者だけのものではない！ 経営者と社員のものだともおっしゃっていました。

**強い社員が 強い事業をし、強い会社を作る ⇒ 社員は大事！**

経営理念の1つにも、そう書かれていました！

私達も、強くありたい！ 強い会社を作りたい！  
そう感じました。



せっかくの出来たての温かい  
“プレミアムスイートポテト”  
食べるのに夢中で写真撮るのを  
忘れてました！

市岡製菓のみなさま  
本当にありがとうございました。